

クラス番号	601	担当教員名	浅原 千里
テーマ	重い知的障害のある人の利用者主体の支援システムを考える		
著書・論文	研究課題：社会福祉専門職養成における実習教育のあり方 / 障害をもつ学生の社会福祉実習教育支援 著書：『相談援助実習—ソーシャルワークを学ぶ人のための実習テキスト』中央法規出版 2010年（共著） 『社会福祉専門職論』中央法規出版 2007年（共著）		
研究課題等	論文：「社会福祉士実習生のジレンマ体験の特徴とスーパービジョンのあり方—事例の分類を通して」日本福祉大学社会福祉論集 127号 2012年（単著）		

ゼミナール概要

キーワード：重い知的障害のある人 利用者主体の支援 自立 ソーシャルワークの価値と倫理 ケアワーク

私は教員になる前に、知的障害のある自閉症の人を支援する仕事を通して「コミュニケーションは身体を張ってするもの」であることを学びました。具体的には、ことばによる意思表示や情報伝達、自己決定が難しい方の支援では、その人の生活や活動に寄り添い見守りや必要な介助—いわゆるケアワークを行う中で、五感を総動員してコミュニケーションをとり、なじみの関係—援助関係（ラポール）を構築するプロセスが大切だということです。重い知的障害がありことばをコミュニケーション・ツールとすることが難しい人、日常生活における自己決定や意思表示が困難な人のソーシャルワーク（社会福祉士及び介護福祉士法では「相談援助」といっています）においても、援助関係（ラポール）がベースになることは言うまでもありません。

障害福祉サービスを提供する事業所の人員配置基準では、ソーシャルワークとケアワークを担う職種を厳密に区別していませんが、そのような現状に対し、事業所内に直接支援部門とは別にソーシャルワーク専従部門を置くべきとする議論があります。その根底には、ソーシャルワークとケアワークは互いの専門領域を侵すべきでないという考え方があり、現在の社会福祉士養成教育の内容はケアワークと一線を画する形で構成されています。重い知的障害のある人のさまざまな思いをくみとり、「利用者主体の支援」を展開しようとするとき、ソーシャルワークとケアワークの関係はどうあるのが望ましいでしょうか？

このゼミは、このような問題意識を出発点に、重い知的障害のある人の「利用者主体の支援」について、主体としての「利用者」をどのように理解するか、「自立」をどのようにとらえるか、どのような支援システムが有効であるか、等さまざまな角度から議論していきたいと思えます。

授業計画：

- ①-【3年次前期】テキスト購読により、ソーシャルワークの基盤となる価値・理論・技術を理解します。知的障害のある人のアセスメントや支援で活用される行動理論についても学習します。（以下は、予定テキスト）
 - (1) 社)日本社会福祉士会編『改訂社会福祉士の倫理—倫理綱領実践ガイドブック』中央法規出版 2009年
 - (2) 津田耕一『利用者支援の実践研究—福祉職員の実践力向上を目指して』久美 2008年
- ②-【①に並行してまたは夏休み中】現場でボランティアとして重い知的障害のある方と継続的に関わります。ソーシャルワーク実習を除いたボランティア・サークルなどで、知的障害のある方と継続的な関わりをもち（少なくとも2週間以上）、プロセスレコードを作成・提出することを必須とします。
- ③-【夏合宿、3年次後期】「利用者主体」「利用者理解」「ソーシャルワークの価値・倫理と葛藤」などをキーワードに、文献学習とボランティアでの関わりを通して考えたこと・学んだことをゼミメンバーと議論し、問題意識と考察を深めます。
- ④-【3年次後期または4年次前期】知的障害のある人の支援者インタビューを、ゼミ生が企画・実施します。
- ⑤-【3年次後期、春休み、春合宿】①～④の学習をふまえて各自の問題意識を明確化し、研究テーマ、研究計画を設定します。
- ⑥-【4年次前期】研究テーマを深めるための文献探索とフィールドワークを行い、ノートを作成します。
- ⑦-【4年次前期～夏休み】テーマについて自分の見解を論文にまとめます。

担当教員からのメッセージ

知的障害のある人や子どもの支援に関心のある方は、ぜひこのゼミにエントリーしてください。自己決定や意思表示が困難な人の支援では、人間の尊厳や社会正義をめざす福祉実践が本物であるかどうかを試されます。この仕事は知力・気力・体力を要しますが、ストレートな感情表現や体当たりのコミュニケーションを仕掛けてくる利用者さんとの関わりは刺激的で、気持ちを通じ合えた（と感じる）ときには何物にも換え難い喜びがあります。エントリーシートには、①将来の希望進路 ②これまでの学習や体験を通して知的障害のある人の支援についてあなたが感じていること考えていることを、詳しく書いて下さい。